

# 現場内事故に関するアンケートの集計結果について

## (2015年度集計)

2016年11月7日  
建設廃棄物協同組合  
収集運搬委員会

収集運搬委員会では現場内事故に関するアンケート調査を2016年7月に実施しました。(調査期間2015年4月1日～2016年3月31日)

その結果は次のとおりです。収集運搬委員会ではこの調査を毎年実施し、各組合員で現場内での事故の削減を図るべく安全大会等の資料としてご活用ください。

### 1. 車両種類

今年度の現場内事故の総数は57件発生しました。(昨年は73件)

車両種類別ではコンテナ車の22件が最も多く次いでユニック車の21件の順となります。

### 2. 年齢別

年齢別では30代が19件と最も多く、次いで40代の18件の順となっており、昨年同様中年層に事故が多いのが特徴的でした。

### 3. 経験年数

経験年数では各車両5年以下の経験者が最も多く全体の70%を占めており次いで経験年数が10年以下とことらも昨年同様若年経験での事故が多く散見されるのが特徴的となっております。

### 4. 時間帯

時間帯別では午前10時からが15件と最も多かった。

### 5. 事故の種類

事故の種類では後退時の21件が最も多く、次に現場内移動中の12件、クレーン作業の9件、コンテナ脱着作業の7件の順となります。

### 6. 総評

本調査を5年間実施した結果、年齢別では30代、40代、経験年数では5年以下の事故が圧倒的に多く傾向に変化が見られませんでした。

これは自動車運転の経験はあるものの、中途採用等により中年層からトラックを乗り始める運転手に顕著に現れていますので、重点的に安全教育を実施してください。

また昨年と変わらず後退時の事故が非常に多いです。  
現場内は絶えず変化しており場所も狭いゆえに発生件数も多くなっております。  
特に**誘導員による誘導**にも関わらず事故を起こした例が数多く散見されますので、もう一度後方確認の方法等の徹底を行ってください。  
また、コンテナ脱着作業、クレーン作業等特殊作業の事故が依然として減らないのでこの部門でも重点的に安全教育を実施してください。  
昨年より現場内事故は減少しておりますが小さな事故が積み重なり重大事故に発展する恐れがありますので各組合員では引き続き安全教育を徹底され事故削減に努めてください。

## 7. 事故例

### 1) コンテナ脱着作業

- 自車が移動する場所に当初何もない状況に職人の車両が入り（工具の出し入れ）出るまでの間に相手車側の台車が置かれ（車両左側）、それに気が付かずその場所に後進し、その後コンテナを下ろして台車に積んでいた工具ごと破損させた。
- 建屋内作業で一部天井が低くなっており、前進した際にブームが天井に接触。
- コンテナ引き上げ時にコンテナ下にあった水道メーターの蓋を破損。
- 荷の入ったコンテナを背負う際に荷（FRP）が落下、後ろにあった既存駐輪場支柱を傷つけたと先方に主張される。（シートを掛けないまま作業を行った）
- コンテナを持ち上げてる途中に、バックギアとセカンドギア間違えてしまい、コンテナが横にずれて、コンテナ横の柱に接触。
- コンテナ箱移動時、ハンドルを左に切ったところ右後部コンテナが壁に接触となる。
- 地下駐車場のスロープでコンテナを降ろしコンテナが坂を下り駐車場壁とシャッターを破損。
- 地下駐車場でコンテナ引上作業中コンテナが落下駐車場床を破損。

### 2) クレーン作業

- 現場内にてユニックのブームを動かしながら分別ボックスを所定の場所へ設置しようとしたところ、ボックスが回転してしまい建物に接触した。
- 現場にてユニック作業終了後、張っていたアウトリガーを格納しようとした所、マンションの館名板にアウトリガーがあたり破損した。
- 現場でコンパネ 50 枚をワイヤー4 点吊りでブームをおこしたら 2 本のワイヤーがフックの外れ留めから外れてフロントガラスに当たり割れた。
- 現場内の出入りロゲート付近にてクレーン作業中に天井の出入りロゲートに接触。
- 建物内にあるフレコンに入った荷物を、屋外からひっぱりながらクレーンのブームを上げたところ、外部架設材にブームを当ててしまい、破損させた。
- 幅約 4mの私道に建物と平行に車両を止め、約 3.5m幅 50cm ぐらいの屋根下から高さ 1mの場所に置かれたフレコンの荷を、縦引き（荷物が上がりきらない状態）をしながら積込む作業を行う。急に荷物が宙に浮きブームが振られ、建物外壁（1階ベランダ角）にクレーンを接触破損させた。
- ブームを可動中、荷物に気を取られブームが新築建屋に接触破損。
- クレーン作業中、操作ミスにより、電線一部へ接触、切断となる。

### 3) 現場内移動中

- 現場にて車両移動中、左方駐車中の車両にオーバーハングにより接触する。
- 車両発進する際、ハンドルを左へ切り過ぎたため、横にいた車両のフロントバンパーに接触して破損させた。
- 現場内に設置されている洗輪場の進入する際の角度が悪くサイドバンパー及びリアタイヤをバースト。
- 現場内に敷いてある鉄板が雨で濡れていた為にハンドルを切っても曲がらずに真っ

- すぐ車両が進んでしまい単管パイプで組んだ足場に接触。
- 地下駐車場で車両の向きを変えている最中右側のブロック壁に車両右前方をぶつける。

#### 4) 後退時・現場内入退場時

- 誘導員の誘導で後退したところ後方にあった標識に接触。
- 現場へバックで進入する際に右側に気を取られて左後部バンパーがスロープの手摺に接触した。
- 現場内へバックで進入したところ、門扉に接触、破損。
- ガードマンの誘導でバックしていた所、ガードマンが後ろではなく自車右側で誘導していたため後ろに駐車していた車両が見えなく死角になりぶつけてしまった。
- 現場内にてバックした所アルミゲートに接触し破損させた。
- 現場に入り作業しようとしたが、別の車両が入るので脇によるよう指示があり、脇に寄せてバックしている最中に制御盤に接触。
- 現場作業を終えバックで出たところブロック塀がありバンパーに接触。
- 現場駐車場内にて積込完了後、車両を移動させようと後進したところ左斜め後ろに停車していた車両に気づかず接触。
- 警備の誘導を受けながら工事用出入口をバック走行で進入中、助手席側後方をゲートに接触した。
- 車両を駐車場にバックで止めようとした際、後方にあったフェンスに材木が固定されていることに気付かずバック突した。車両に押された材木が、隣の会社の壁に当たり破損させた。
- 現場から退出する際に、シャッターが開いていたので通ったら、シャッターが降りてきて車両上部が接触
- 作業所にて積み込み中（後部扉を開け）、車両を移動するよう指示を受ける。乗務員は扉を閉め忘れ車両を後退、直後扉が半開き状態となり、隣接する壁の一部に接触となる。

#### 5) その他

- 現場にて積み込み後、台貫計量すると2 t オーバーしていたので積場に戻り2 t だけ降ろそうとダンプアップするが積荷の降ろす量にばかり集中し頭上の天井シャッターにダンプが接触。
- 高積みした2 t ダンプを高さ制限のある駐車場に侵入させて天井を破損。

# 2015年度現場内事故集計表 事故件数57件

